

こどもの力で地域が動いた！

～「防災」を楽しく学び、楽しく伝える協働体験～

発 表 者 仙台市立錦ヶ丘小・中学校コミュニティ・スクール「**TOMONI**（トモスク）」
会 長 野館 憲一
事務局 安藤 直美（学校支援地域本部めですこSCHOOL スーパーバイザー）

学校所在地	児童生徒数	学校運営協議会			地域学校協働活動 推進員数
		設置年度	委員数	年間開催回数	
宮城県仙台市	888名/小学校 607名/中学校	令和4年度 (2022年)	10名	3回	1名

学校教育目標

変化の時代をたくましく、しなやかに、**共に**生きる錦の子 (仙台市立錦ヶ丘小・中学校 コミュニティ・スクールが目指す子どもの姿)

学校・地域の特徴

造成から30年を経た戸建を中心とした新興住宅地。市中心部から車で20分ほどの仙台市西部の自然の残る丘陵地に位置している。火山岩から成る堅固な地盤を有し、2011年の東日本大震災においては、ライフラインの断絶はあったものの、建造物の倒壊などはなく、大きな被害を免れた。

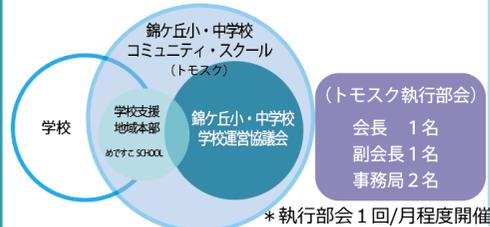
その後、急激な人口の増加が見られ、それに伴い、2015年錦ヶ丘小学校開校(開校時児童数961人)。ついで錦ヶ丘中学校が2019年に開校した。

学校運営協議会の概要

委員の構成

- ・PTA会長
- ・PTAOB
- ・学校支援地域本部
(地域学校協働本部)
- ・地域学校協働活動推進員
- ・児童館職員
- ・連合自治会長
- ・大学教授 など

組織図



これまでの主な議題例

- 【熟議テーマ】
- ・錦ヶ丘の子どもの育ち
 - ・これからの時代を生きる子どもに必要な〇〇力(小中教員)
 - ・防災プチ熟議(委員)
 - ・錦ヶ丘っていいところ(中学生)
 - ・推しは[NISHIKIGAOKA] みんなのアイデアでもっとすてきな錦ヶ丘に!(小5)
 - ・自分たちの力のできる!? 地域のための防災活動(小6)
 - ・アイデアと行動力は無限大!
- 防災ランチミーティング(小6) など

地域学校協働活動の 特徴的な取組や工夫など

- ・トモスクフェスティバル(テーマ防災)
- ・ランチミーティング(小学校)
- ・錦ヶ丘学区民運動会(体育振興会主催)への協力
- ・まなVIVA!(中学校テスト期間自習室運営) など



仙台市青葉区錦ヶ丘

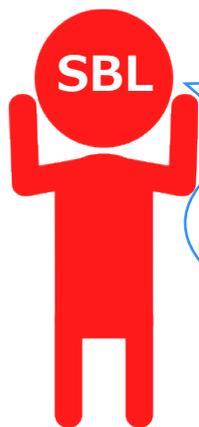
・東日本大震災とその時の地域の様子

ライフラインの断絶はあったが、建物の倒壊などは見られず、大半が**自宅避難**で過ごす。当時、自治会としての防災組織はなかったものの、**中学生有志**が独居高齢者宅へ水の配達などの**ボランティア活動**をし、**地域コミュニティの大きな役割**を果たした。

・「防災」意識の現状

地震や水害に強い地域ということもあり、地域住民は安心して暮らしている。その分、防災に関する意識の向上が課題と見られていた。

* 錦ヶ丘のSBL（仙台地域防災リーダー）



地域の防災力向上に取り組んでいます。課題は、地域の特性に合わせ、**楽しく続けられる防災意識の定着**です。体験型やゲーム形式の活動を通じ、住民が自然に防災を学び、互いに助け合える地域づくりを目指しています。

教育活動の三本柱

仙台版防災教育の推進

仙台自分づくり教育の推進

情報教育の推進

学校における錦ヶ丘での防災教育への
「課題感」

どうしたら学びを
深められるか。



令和4年11月 コミュニティ・スクール開設

☆児童・生徒よりイメージキャラクターと愛称を募集



錦ヶ丘小・中学校コミュニティ・スクール
「**TOMONI**（トモスク）」が始動！

令和5年1月 トモスク主催小・中合同 探究プレゼン大会開催

テーマ 6年生 「自分作り」

中1・5年生 「防災」



* 5年生有志（R6/4 6年生に進級）による継続的な探究活動をする自主グループ

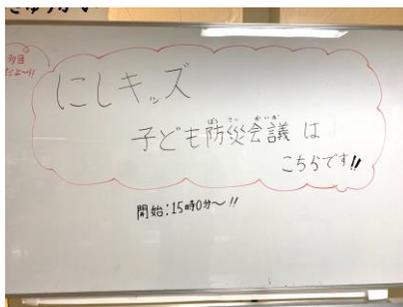
【主な活動】

・こども防災会議開催

放課後、4～6年生の希望者が参加し、地域の防災に関する問題点を探る

・地域内へ活動チラシを回覧

自分達で学んだ土砂災害危険区域や動物被害に関する情報の発信と意識啓発



R6年春 小学校を卒業し、中学校へ進学

卒業しても、にしキッズが「探究」を継続するには？

* 地域住民としての体験

ライフライン断絶・食糧調達、ガソリン供給の不安・情報過小あるいは過多と混乱
緊急時の対処に対するイメージ不足など

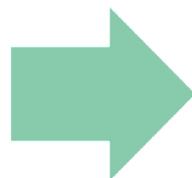
* こどもたちへの思い

「その時」「その場所」で**動ける大人**になってほしい。

* 熟議

錦ヶ丘のこどもたちに、どう伝えていくか。どう「防災」を学んでもらうか。

* 第1回ランチミーティング (R6/3 5年生)



地域や学校に対する愛情がいっぱい

総合学習を通して「防災」への興味関心の高まり



トモスクとして地域防災にどうに関われるか

6年生に進級後、**第2回ランチミーティング**開催



あいさつやコミュニケーションの向上ができれば、助け合いや声かけができる!

ランチミーティング要項(一部抜粋)

トモスクランチミーティング 小学生 Ver.2 10/JUL./2024

考え方が変わる

自分たちの**力**でできる!? 「地域のための防災活動」

知識だけではなく、行動に移せることが大事。
錦ヶ丘民が生き残っていたら、できることは無限大!

知識と体験が必要

そもそも地域の防災活動って必要?

やったら、何かが変わるかな?

防災教室(どんなこと?一番大切なことは?等 みんなで学ぶ)

6年生は炊き出しのお手伝いができる。

どんなことを? どのふうに?

地域の方と一緒に避難訓練をする。(季節ごとに)

ペット防災(大人は自分のことで精一杯)

子ども発信の防災新聞の配布

自分たちの力でできることってある?

やってみたいことってある?

だれに? だれと?

地域の方と子どもから大人までみんなでやる

ゲームで防災を学び「防災王」を決める!

防災活動は事前の準備が必要なので錦ヶ丘住民のみんなでやる。

外国人の方にもわかるようなポスター作成や事前の呼びかけをする。

子ども発信の防災新聞を作り、各家庭に配布する。

《子どもの説得力で大人の意識が変わる!》

防災迷路(防災についての選択クイズを解きながらゴールに向かう)

防災まつり(仮)等で、6年生が下学年や低学年に知っていることを教える。

サバイバルキャンプをやりたい!

伝えたいこと、やりたいことがいっぱい!



令和6年9月 錦ヶ丘学区民運動会にて 「防災ウルトラクイズ」企画進行に挑戦！



夏休み中、母校（小学校）で
SBLさんと打ち合わせ



大人に向けて堂々と目的と企画内容を提案



見事な進行と内容に参加者から大きな拍手が！

「防災」を楽しく伝えたい 楽しく学んでもらいたい

こどもたちの「思い」を形に。

被害が少なかった地域だからこそできるやり方で

協働で、それぞれの「得意」を活かし、無理なく力を発揮

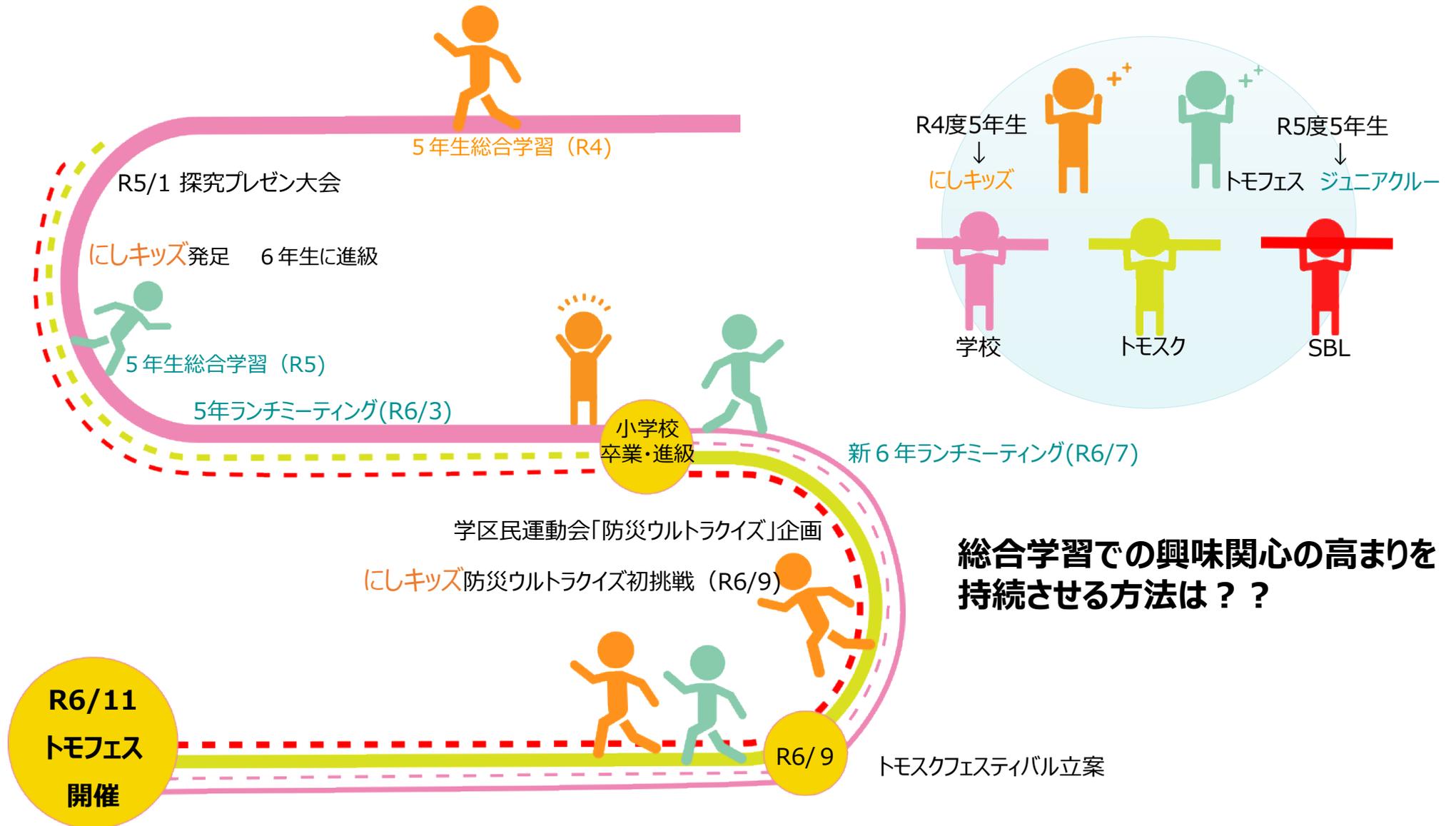
こどもたちの力で「地域」が動く

～子どもと学ぶ 子どもに学ぶ～トモスクフェスティバル

THE BOSAI 2024 開催 決心！

(@令和6年11月30日(土) 錦ヶ丘コミュニティ・センター)



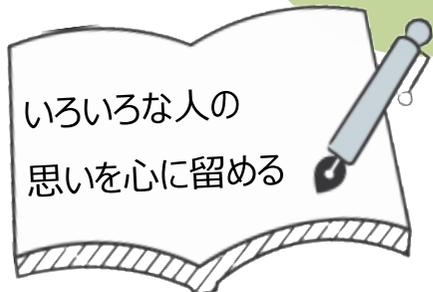


「こども」が地域のために動く。「こども」が主語のフェスティバルを！

それぞれに向けて心がけたこと



無理なく
楽しく、
思いを寄せて。



こども

- やる気をくすぐる工夫
- やりたいことの実現
- 大人と「チーム感」
- 時間的制約の軽減（小学生）
- 忙しい中学生は短期集中で
- SNSも活用(中学生)

学校

- 続けていくためには初手が大事！
- 地域協働と働き方改革の落しどころの模索（日時や場所）
- 先生には先生にしか出来ないことを。

地域

- 子ども（学校）とつながる
- 地域防災の知恵と知識を活かす
- 顔を知ることそのものが「地域防災」
- 防災のプロ参入で企画のクオリティ↑

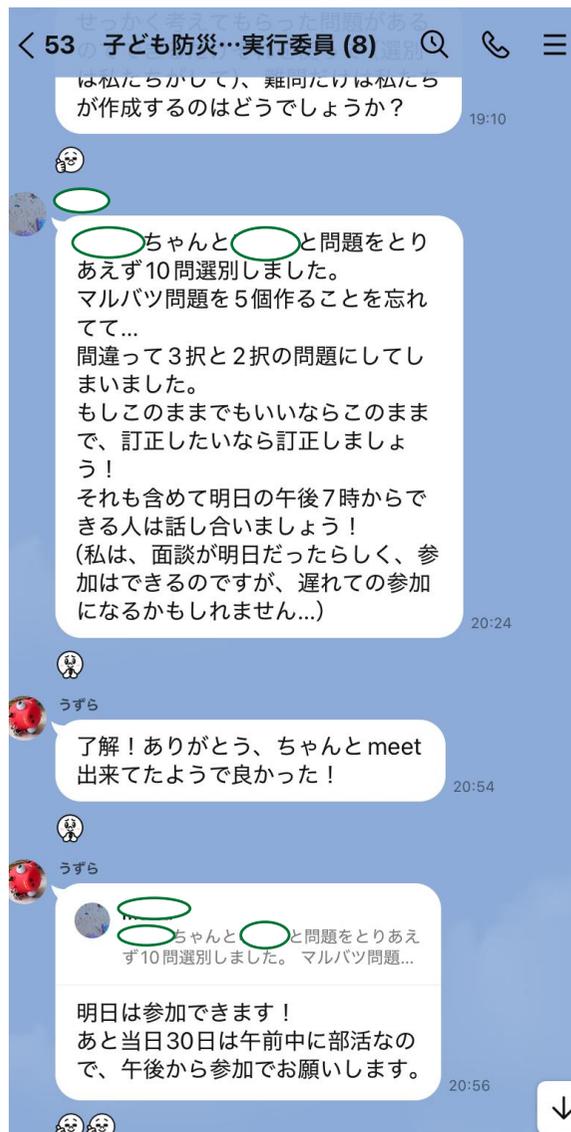


目標：中学生のリーダーシップと瞬発力を発揮してもらおう。先輩としてジュニアクルーと協働できる。

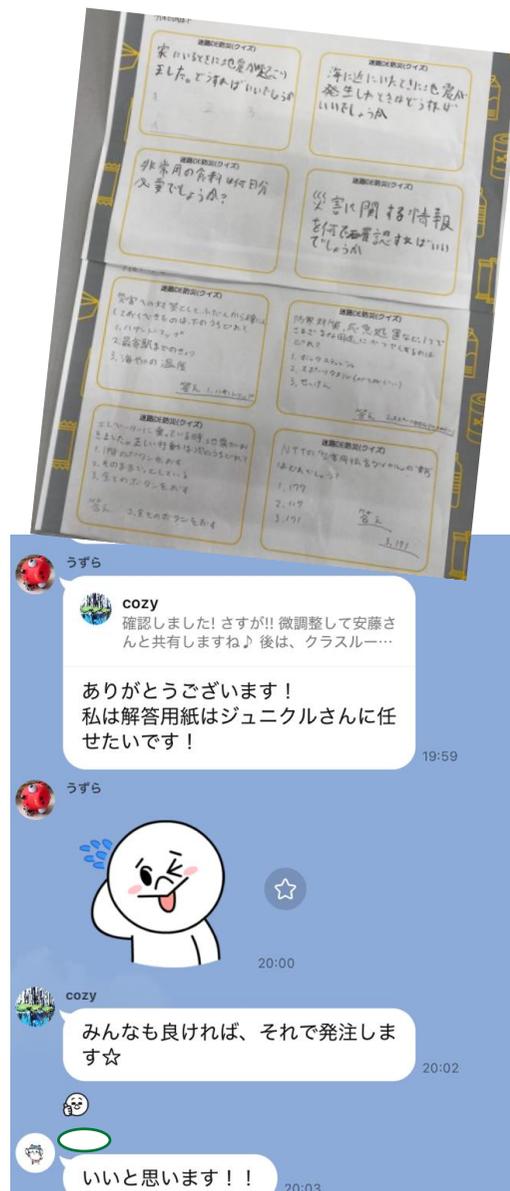
対面打ち合わせは、週末、じっくろ。



情報共有や細かな調整は、LINEやmeet。



後輩（ジュニアクルー）との役割分担。





スナック菓子で即席サラダ作り



デコれるオリジナル新聞スリッパ作り



当てた景品で防災ポーチができあがる
防災まとあて



たたいてかぶってじゃんけんぽん



非常時のNG行動のカードをたたくます



クイズの正答率が人によって偏りがあったので、このようなイベントを通して様々な人が防災に興味を持てるように活動していきたいと思いました！子ども防災会議が忙しかったりして全然開けてないので、なんとかして開きたいと思いました。今回のトモフェスもとてもいい経験になりました。このような機会を頂き、ほんとに感謝しています！これからも楽しく学んでいけるように、頑張りたいと思えました！！本当に今日はありがとうございました！！

迷路の受付でたくさんのお子さんと大人の方が来てくださって、どの方も私の説明を真剣に聞いてくれて嬉しかったのと普段話すことの出来ないような方（小学生、錦中の初代校長などなど）と話せてとってもいい経験になりました。にしきっずに入って良かったと強く思いました！今後もこういった活動をたくさんしていきたいです！！



失敗もいっぱいしたけど、みんな楽しそうに遊んでくれたし、SBLさんも、中学生さんもめっちゃ優しくしてくれてたし、いっぱい褒めてくれたので、嬉しかったです。新聞スリッパの作り方を教えてただけなのに、達成感があったし、休みに遊べたので楽しかったです。この経験を活かして、こういうイベントにも定期的に参加したいし、授業中もいっぱい発言したいです。いざとなったときにも役立てたいです。またトモフェスやってほしいです！

ジュニアクルーに入る前は防災のイベントは少しむずかしいイメージだったけど、初めて運営側についてイベントを大成功させる事ができて、本当にうれしいです。当日も他のジュニクルメンバーと協力して、イベントに来た人を楽しませることができたのではないかと思います。防災のイベントは未来のことにも繋がられるし、ゲーム感覚で学べるのがすごく大切なのではないかと思いました。このような運営側につけた経験を活かして、これからの学校生活や、防災のことにも役立てていきたいです。

このようなイベントで初めて運営側にまわってとても楽しかったです。それぞれのブースでお客さんが笑顔で帰っていくとこっちもとても嬉しいし、楽しい気持ちになりました。他のジュニアクルーの人とも仲良くなれたし、協力できたと思います。自分たちが去年学んだ防災と、どう周りの人に知ってもらうか、去年の学びを活かしたイベントで、それを形にでき、それに携われるのが嬉しかったです。次このようなイベントがあったら、また進んで立候補したいと思います。

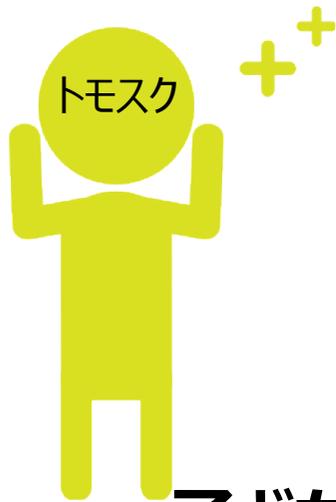
心に残っていることは、お客さんが楽しそうに帰っていくことです。運営って難しいそうだなと思っていたのですが、みんなと協力することで自分も楽しめました。最初は説明などどのようにすればよいかわからなかったのですが、だんだん慣れてきてみんながわかりやすいような説明をすることができました。去年考えた災害への対策をこのように、実際にみんなに伝えることができてよかったです。



- ・にしキッズ、ジュニクルのみなさんと協力できたことはこれから防災活動をするうえで**繋がりができて**大変良かった。これからも**子どもたちと一緒に地域防災活動**をしていきたい。
- ・ジュニアクルーの防災対策の発表は、とてもよく考察された提案で大人顔負けでした。特に災害時の理科室の利用については、ペットのことをとても考えていて、私にはそのような発想は全くなかったので勉強になりました。子どもならではのアイデア、発想といった智慧や工夫が盛り込まれていて、素晴らしかった。



- ・役割分担で**負担感なし**
- ・計画～準備～実行～振り返り、その**すべての過程に必ず「子ども」**がいる。それがとてもおもしろかった。
- ・事前に地域と学校が**目的を共有**することがすごく重要。それができていたので教員側が、初めてのことに不安を感じている子の背中を押し、励ましやサポートもできた。
- ・小学生でこんな経験ができた子たちは、数年後、**次はどんなことを学びどんな感想をもつんだろう**と楽しみになった。
- ・**地域と学校が同じ方向**を見て、同じように子どもの成長を願って、**それぞれに役割分担**しながら進めていく、という流れが、まさに「地域と学校の連携」なんだと実感。



～子どもと学ぶ 子どもに学ぶ～ トモスクフェスティバル2

今度はみんなも！

(仮) 防災 **FIGHT!** 2025 開催決定！